

Kendai Magazine

No. 36

2024



CONTENTS

学長挨拶	P2
卒業証書・学位記授与式	P3
成績優秀者コメント	P4
入学式	P5
秋興祭	P6
TOPICS/留学生到着式	P7~9
サークル紹介	P10~11
教員研究紹介	P12
就職奮闘記	P13
2023年度卒業生の就職・進学実績	P14
退職/新任教員のご紹介	P15



福岡県立大学広報誌

Fukuoka Prefectural University



第4期 中期計画開始

柴田 洋三郎 学長



令和6年4月開始の第4期中期計画期間および理事長・学長6期目にあたり、改めて福岡県立大学のミッションを再確認し、DEIAの理念のもと、「学生ファースト」の大学として教育・未来人材育成を最優先に、教職員のワークライフバランスの改善による研究・業務の質的向上をめざしつつ、それらの基盤の上に、社会貢献の推進を計りたいと願っています。2020年俄かに全世界で蔓延した、新型コロナウイルス・パンデミックにより、本学でも教育・研究・学内運営に多大な影響がありました。幸いにも、関係者一体となった全学協力体制により、この難局を乗り切ることができました。この間、まさに本学の素晴らしい伝統、学生、教職員、関係者による日々の営為・ご尽力が結集した賜物だと、改めての皆様方のご貢献に心より感謝申し上げます。

ポストコロナの世に入り、少子化高齢化の進行に加え、自然災害・気候変動、ヨーロッパ・中東の戦乱などなど社会情勢は一層混迷を深め、いまやVUCAの時代といわれます。とりわけ、高等教育の分野では、急速な生成AIの普及など、知の営みに変革の波が押し寄せています。本学第4期中期計画では、このような状況にかんがみ、過度に硬直化した立案を避け、PDCAサイクルを回しつつ、OODAループによる恒常的点検のもと、事業計画の進捗管理で内部質保証を徹底し、並行して中長期的なビジョンの策定を進めていく方針です。

このため、第4期中期計画に求められている、本学の特色ある大学づくりに向けての『法人の個性や強みを特に発揮する戦略的・意欲的な取組』として、(1) 時代の変化に

対応した「学生ファースト」の教育、(2) 「データ駆動型アプローチ」による地域共生社会や高度福祉社会の実現に寄与する研究、(3) 地域の幅広い世代や多様な人々が学べる「全世代型キャンパス」の3つを掲げて重点的に推進してまいります。

急速なグローバル化とともに情報通信革新、政治経済構造の流動化など世界の変動期にあって、高等教育へは大きな期待が寄せられています。これまでの人類の歩み、①狩猟採集、②農耕、③工業、④情報社会の次段階として、未来予測困難ないわゆる「Society5.0」が想定され、どのような資質をはぐくむ人材育成を目指すべきかが問われています。従来の文系理系の枠を越えた学位プログラムとして、将来の如何なる変動社会にも柔軟に対応できる教育システムの開発・整備が望まれます。

さらに我が国では、超高齢化社会の進展を迎え、地域貢献における大学の役割が強く望まれています。とりわけ地元自治体によって設立され今やその数100を越える公立大学には、地域に根差しコミュニティを担う多様な人材の育成、生涯学習・リカレント教育への貢献、地方創生のシンクタンクなどなど、多彩な機能が期待されています。地域の公共財としてのミッションを十全に果たすべく、今後更なる独自性や個性の発揮が強く求められるところでしょう。

「時々」の初心を忘るべからず（花鏡：世阿弥）、福岡県立大学の果たすべき本来使命は何か、皆さんと一緒にじっくり考え合っていきたいと存じます。

卒業証書・学位記授与式



Graduation ceremony



令和6年3月15日（金）、学部卒業生235名、大学院修士19名、併せて254名の卒業式が行われました。昨年に引き続き、卒業生・修士生が一同に講堂に集まる式典となりました。保護者の皆さまも動画中継ではありますが、本学を訪れお子様の卒業を見守られていました。

柴田洋三郎学長は式辞の中で、『入学時の2020年は新型コロナウイルス感染症の流行により、入学式典は中止となり、伝統行事である新入生合宿フォーラムも取りやめとなりました。皆さんには急遽eラーニング講習を受講してもらい、オンラインによる遠隔授業を受けていただくことになりました。その後も、新型コロナウイルスの蔓延が続き、皆さんもこの4年間、極めて制約の多い学生生活を送らざるを得ませんでした。やむを得ぬこととはいえ、結果として万全な勉学環境・学習の機会を十分に提供できなかったこと、改めてお詫び申し上げます。

「VUCAの時代」という正解のない多様で混迷の時代に、世に出ていく君たちへの「はなむけ」の言葉として、「初心忘るべからず」という、室町時代の能楽師・世阿弥の残した花伝書の中の言葉をお贈りします。

花伝書には、「時々々の初心忘るべからず」とあり、さらには「老後の初心忘るべからず」ともあります。即ち、人の成長・円熟の各ステージに差し掛かる度に、新たに遭遇する己の未熟さ不全さを直面・自覚し、克服すべき訓練として日々未知に立ち向かう、厳しい精進の心構えを指して「時々々の

初心」とよび、慢心や惰性に陥ることを諷める冷厳な訓戒の言葉として捉えてください。

君たちのこれまで学んだものの多くは、先人の残してくれた足跡に負っています。いま最先端であるものは、宿命として日々陳腐化します。初心を失い既存の殻に満足し、その模倣に終われば、AIによるクラウドのビッグデータには到底かなわないでしょう。

しかし、君たちには、本学在学中に身に着けた、対人支援力などのKEY COMPETENCY、実技やボランティア、インターンシップ、各種の課外活動などで日々培われた、thinking whyやknowing howが、一生の財産となる潜在能力 tacit knowledge 暗黙知として、十二分に備わっています。これからの正解のない「VUCAの世」にあって、これまで培った基盤的な能力と個々人の創意工夫により、「時々々の初心を忘れることなく」、新たな未踏の世界に向かって、各人臨機応変に絶えず最善解を追い求めていかれるよう望みます。」と述べました。

これを受けて、学部卒業生を代表して看護学部看護学科 早瀬七海さん、大学院修士生を代表して人間社会学研究科社会福祉専攻 澄川ちなみさんが謝辞を述べました。

卒業生たちは、卒業式終了後もキャンパス内で記念撮影をしたり、友達とおしゃべりをしたりと、福岡県立大学で過ごす最後の一日を笑顔で楽しんでいました



人間社会学部
公共社会学科
松岡
実佳子

福岡県立大学での4年間は、多くの出会いに恵まれた充実した時間でした。特に、卒業研究では学外の方にお話をうかがう機会もあり、人脈を広げると共に、自身の視野も広げることが出来ました。実際に研究成果を学会にて発表出来たことも、嬉しかったです。そうした貴重な経験が出来たのも、ゼミ担当の先生に恵まれ、丁寧に指導していただけたおかげだと思っています。

その他、サークル活動や大学行事など、学生ならではの楽しい時間も過ごせました。卒業後は新天地で、4年間で培ったものを糧に大きく飛躍していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



人間社会学部
社会福祉学科
宮川
楓華

大学生活はコロナ禍から始まり、思い通りに進まないことが多くありました。その中でも工夫をしながら講義を行ってくださった先生方や、制約がある中で指導してくださった実習指導者の方々のおかげで、社会福祉士の楽しさや大変さを学ぶことができました。

また実習や国家試験などを乗り越えることができたのは、親身になって話を聞いてくれたり、沢山の笑顔を与えてくれたりした友人達のおかげです。この友人達と出会えたことは私にとって一生の宝物です。

これから新しい環境での生活が始まりますが、大学で学んだことを糧に頑張りたいと思います。4年間支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



人間社会学部
人間形成学科
井村
百花

福岡県立大学での4年間、多くのことを学び、経験することができました。コロナ禍での大学生活は、オンラインでの講義など人と会うことが制限されることもありましたが、それだけに人と会うことの大切さや日常への感謝を学ぶことができました。多くの人と出会い、自分を知り、人生を広げる学びができたと思います。

4年間の大学生活を支えてくれた家族、様々な思い出を作り、どんなときも笑顔で一緒に過ごしてくれた友人、いつも丁寧に指導してくださった先生方には本当に感謝しています。今後、恩返しできるよう日々努力していきたいと思っています。ありがとうございました。

成績優秀者として表彰された方々です



看護学部
看護学科
佐伯
悠華

入学時より新型コロナウイルスによる影響を受け、授業がオンラインになったり学内実習になったりと不安なことばかりでした。しかし先生方の手厚いサポートやコロナ禍でも実習を受け入れてくださった病院の方々や患者さん、辛い時にそばで支えてくれた友人・家族のおかげで困難を乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。看護師になってもこうしたサポートが当たり前ではないということを忘れず、努力し続けていきたいと思っています。

長いようであっという間の4年間で、大学での一つ一つの経験が私自身を成長させてくれたと思います。本当にありがとうございました。



看護学部
看護学科
竹下
結子

コロナ禍で始まった大学生活は、不安な気持ちでいっぱいでした。このような中、先生方は厳しい規制がありながらも、授業や実習等を工夫し実施していただきました。さらに、私たちの「わからない」「できない」に一緒に向き合い、進路について私たちの想いを引き出し、サポートしてくださいました。

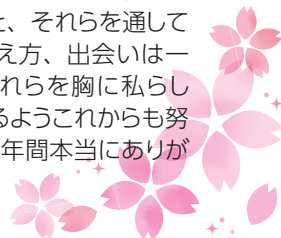
また、楽しい時も大変な時もそばにいてくれた友人には感謝しています。多くの人に支えられ、恵まれた環境で4年間学ぶことができました。

これから学びや経験を礎に、支え合いの社会構築のため、尽力して参ります。友人、先生、応援していただいた地域の皆さま、ありがとうございました。



看護学部
看護学科
早瀬
七海

福岡県立大学で私は自分と向き合うきっかけや考え続けることを学び、夢や目標を見つけることができました。決して楽しい日々ばかりではなく、思い通りにいかないこと、未来を想像したり、専門分野の勉強の中で悩み苦しんだりしたこともありましたが、そんな時に一緒に考えてくださった先生方や、思いを分かち合い切磋琢磨してきた友人達、そしてどんな時も温かく迎えてくれた家族がいたからこそ乗り越えることができました。ここで学び経験したこと、それらを通して生まれた感情や考え方、出会いは一生の財産です。これらを胸に私らしい形で返していけるようこれからも努力していきます。4年間本当にありがとうございました。



入学式



Entrance ceremony

令和6年4月3日（水）、学部入学生275名、大学院入学生26名及び生嶋福岡県副知事、佐々木福岡県議会副議長をはじめ来賓6名、本学の役職者並びに公立大学法人の役員9名で、入学式が挙行了されました。

柴田洋三郎学長は告辞の中で、「V、Volatile 不安定で、U、Uncertain 不確実、C、Complex 複雑で、A、Ambiguous 曖昧な、先行き不透明で予測困難な混迷の世の中において、この大学で学ぶ目的は何か。」と問いかけ、3つの目的があるとお話しされました。

「1つ目は、大学はまずもって学問の場です。君たちの入学の第一目的は、当座の役に立つ高度な専門性の獲得でしょう。本学には、看護・福祉・心理・保育などのコース科目があり、国家資格取得などキャリア形成の中核となっています。勉学に励んでください。2つ目は、人生百年時代を生き抜く君たち「未来からの留学生」が、将来どんな世の中になろうとも、そこを切り拓いていく力となる、汎用的能力「学び方を学ぶ技法」を身に着けることです。そのためには、まず語学力、数理・データサイエンス、基本倫理や幅広い知識など世間一般でいう教養が基盤となります。目指す専門分野以外の分野こそが、知の世界を無限に広げてくれます。本学では放送大学との連携により数百に及ぶ幅広い開講科目を無料でウェブ履修できるほか、専門にとらわれず、様々な課題に対処し「汎用的学習能力」を育む「全学横断教育プログラム」を展開しています。大いに活用してください。3つ目は、皆さんの夢や目標に向かって人生百年時代を生き抜く素地となる、豊かな人間的成長の場であることです。20年後、50年後、「成り行きの未来」に流されるのではなく、皆さん自身の「なりたい未来」をぜひイメージしてください。本学は、学生が主体的に参加する「社会貢献・ボランティア支援センター」や「不登校・引きこもりサポートセンター」を設置するなど、少子高齢化の進む未来社会を築く「ヒューマン・ケア」のエッセンシャルワーカーを育む大学として、多様な先進的・教育プログラムを実践し、皆さんの人間的成長と「なりたい未来」の実現をお手伝いしていきます。」

これを受け、入学生を代表して看護学部看護学科の和田乙葉さんが「現在の社会が抱える様々な課題に、自ら積極的に関わる人となるため、一生懸命勉学に励み、様々な知識や経験を積み重ねることができるよう努力します。」と宣誓しました。

今年入学された学部学生275名、大学院生26名の皆さまのご入学を心よりお祝い申し上げます。



【祝辞】生嶋 亮介 副知事



【祝辞】佐々木 允 副議長



【告辞】柴田 洋三郎 学長

第32回 秋興祭

(令和5年11月11日(土)
~12日(日))



第32回秋興祭にご来場いただき、誠にありがとうございました。

令和5年度の秋興祭は二日間とも天候に恵まれ、まさに学園祭日和となり、会場は大変な盛り上がりを見せました。学内サークルによる模擬店の出店や外部からのキッチンカーの出店、吉本興業のお笑い芸人によるお笑いライブも行うことができ、コロナ禍以前の賑わいが戻ってきたと感じております。また、毎年恒例のシンボル大アートは4号館の改修工事の関係で食堂前の大窓での展示となりましたが、多くの好評をいただきました。ステージ企画も沢山の方々のご協力のもと、多数の来場者に楽しんでいただき、大成功となりました。秋興祭を長年ご支援くださる皆さま方のおかげで、無事に秋興祭を終えることができましたことを、委員一同深く感謝申し上げます。

令和5年度の秋興祭も皆さまの記憶に残るようなイベントを目指し念入りに準備を重ね、このような形で開催することができました。しかし、まだまだ課題も残っております。今回の反省点を活かし、来年度以降より良い秋興祭を創り上げられるよう、委員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

第32回秋興祭実行委員会
実行委員長

坂本 大雅

Topics 1

社会調査実習より



令和6年3月16日(土)、「田川市中小企業振興ビジョン取組報告会」の中で、本学の学生と田川市産業振興会議・実務者責任者会議と協働で実施した「中小企業振興基本調査」の分析報告が行われ、公共社会学科の18人の学生が登壇しました。

報告では、田川市中小企業振興ビジョンの実現のために必要としている以下の項目についての分析結果を学生が報告しました。

- 1 事業所の状況
- 2 人材確保の状況
- 3 売上・収益の状況
- 4 今後の事業展開、後継者問題
- 5 田川市中小企業振興基本条例の認知
- 6 新たな取組についての課題
- 7 企業と市民をつなぐマッチングサイト「KIBITTE」の需要



当日は、村上卓哉田川市長をはじめ、佐々木允福岡県議会副議長、福岡県・熊本県・広島県の中小企業家同友会の皆さま、自治体関係者の皆さま、田川市民の皆さま、たがわ Planners としてまちづくりを行っている田川市内の高校生にも参加いただき、盛会のうちに終了しました。

産学官民がともにつくる元気なまち田川についてのビジョンを共有することができたと思います。



参加した学生の感想



報告書について構想を練り始めた前期の最初のころは、ちゃんと報告書ができるのか不安でいっぱいでした。1年間を通してなんとか完成させることができ、とても達成感を得ました。何より実際に田川市のために動いていらっしゃる方々と直に交流をすることができ、皆さんの田川を良くするためにはどうしたらいいか、という熱い想いを感じとることができたため、私たちもその想いに応えようと報告書作成に努めることができたと思います。また、報告会では今まで交流を深めていた産業振興会議の方々だけでなく、たがわ Planners や中小企業経営者の皆様も田川市を変えようと考え動いていらっしゃることを知りとても感銘を受けました。私たち将来地域を担う者が、今から少しでも動き始めることがとても大切なだと学びました。私も何か地元のために貢献できることはないかなと考えることができ、とても有意義な時間でした。1年間ご指導ありがとうございました(公共社会学科 Y.S)。

仮説の構築から分析、報告書作成からの報告会、今回の実習での全ての過程において想定通りに事が運んだことの方が少なかったです。しかし、そうなった時にどうするか、頭を悩ませながら時に相談し協力すべきところは協力しあい目的を達成できたのはとても嬉しかったです(公共社会学科 K.Y)。

中小企業の実態について専門的かつリアルタイムで調査できたのは間違いなく貴重な経験でした。実際にアンケートを1から作ることで、集計し分析することでより身近な調査ができ、より深く問題や現状を知ることができました。中小企業に新たな取り組みや体制がとられていることを、データや文章だけでなく、実際に取り組んできたり、取り組もうとしていたりしている方々の話を直々に聞くことで、自分たちが行った調査と結び付けて考えることができました。また、たがわ Planners の活動を知ることができて、調査でも触れられなかった田川市の一面に触れることができ、田川市をより深く知ることができました(公共社会学科 2年 M.K)。

Topics 2

防犯サークルオリオンズが表彰されました!



令和5年10月1日（日）、エルガーラ大ホール（福岡市中央区天神）で開催された「令和5年度 安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」にて、防犯サークルオリオンズが表彰されました。

オリオンズは、2018年度に警察庁が実施した「子供・女性に対する犯罪等を防止するための対策に関する調査研究」の対象大学となった際に、同取組のワークショップに参加した学生が中心となって設立し、現在まで引き継がれています。

表彰式では、オリオンズの各種活動における功績を表彰して、賞状と盾の授与が行われました。また、表彰式の後には防犯活動団体の事例紹介があり、日頃のオリオンズの活動についてステージ上で発表が行われました。



Topics 3

交換留学生在が日本語スピーチコンテストで好成績を収めました



ヒョサン さん



モユウ さん

令和5年11月5日（日）、飯塚国際交流推進協議会主催による「外国人日本語スピーチコンテスト」が開催され、福岡県立大学の留学生5名が参加しました。

コンテストは飯塚市役所で開催され、参加者は約3分間の日本語スピーチに挑戦しました。

結果発表では、最優秀賞を本学留学生のキム ヒョサンさん（三育大学校／韓国）が、優秀賞をチン モユウさん（南京師範大学／中国）が受賞しました。

この日のコンテストに備えた練習やリハーサルには、学生がサポーターとして多数参加し、留学生の話し方やジェスチャーを特訓していました。本人たちの努力と周囲のサポートのおかげで、全員原稿を覚え、はっきりした流暢な日本語でバラエティー豊かなスピーチを披露し、素晴らしい結果を収めることができました。

Topics 4

田川警察署実戦的総合訓練



令和6年2月7日(水)、田川市の田川警察署において、外国人に対応する警察官のスキルアップを図る訓練が行われ、本学の学生が参加しました。

この訓練は、外国人が交番に相談に来たという想定で、多言語翻訳機能がある専用端末や外国語が書かれたボードを使っての対応が行われました。

公共社会学科の笹井美伽さんが、道を尋ねてきた外国人役を担当し、中国語で警察官に話しかけました。

訓練終了後、笹井さんは「県立大学の学生として田川市に少しでも貢献できたのなら幸いです。中国語の授業は3年生で終わりますが、4年生以降も引き続き勉強したいと思います。貴重な体験ができました。」と話していました。



留学生到着式



令和6年4月11日(木)、大邱韓医大学校(韓国)から新たに2名の交換留学生が来学し、到着式を行いました。

到着式では、柴田学長の挨拶の後、留学生が一人ずつ自己紹介と留学生活での抱負を述べました。

今回の到着式では、地域の皆さま(筑豊市民大学様、福岡県立大学と共に歩む会様)も駆けつけてくださいました。また、留学生の滞在する寮やサークルの学生の皆さん、本学から韓国への短期留学を経験した学生も多数参加しました。これから留学生は、本学で生きた日本語・日本文化を学ぶとともに、日本人学生や地域の皆さまとの親交を深めていきます。

Circle Activities

運動系

剣道部

こんにちは。剣道部です。私たちは、男子2名、女子6名の計8名で活動しています。昨年は、他大学との合同稽古や九州学生剣道連盟に加入し、各大会に出場してきました。本年度は、諸事情により剣道連盟には加入していませんが、毎年開催されている北九州インカレには出場する予定です。

活動場所は福岡県立大学体育館で、毎週月曜日と木曜日の18時半から20時に活動しています。よく稽古のメニューがきつそうという印象を持たれますが、私たちは「楽しく剣道を続けること」をモットーにしていますので、稽古メニューは基本技や地稽古がメインで、少し息が切れる程度でメニューを組んでいます。

また、部活以外にも休日に予定を合わせてBBQや花火をしたり、OBの方々と稽古会をしたりと学年問わず仲が深まるイベントも行っています。

本大学の剣道部が2019年度に発足して今年で約5年が経ち、年々活気づいてはいますが、まだまだ部員が少ないのが現状です。剣道経験者をはじめ初心者も大歓迎なので、ぜひ気軽に見学に来てください

人間社会学部 公共社会学科
橋本 紗和



男子バスケットボール部

こんにちは。男子バスケットボール部です。現在16名の部員が所属しております。

その内経験者は半分ほどで、未経験者や大学で久しぶりにバスケットをするという部員も多いです。練習としてはほとんど試合形式で楽しく、ゆるく活動しています。また、公式戦や大学周辺で行われるイベントなどに参加することもあります。昨年は12月に行われた北九州インカレで4位という成績を収めました。

活動場所は福岡県立大学体育館で毎週火曜日と土曜日の19時から22時に活動しています。もし見学や体験をしたい等あれば、部員にお声掛けください。いつでも大歓迎です。

サークル活動以外では新歓や秋興祭・大会等の打ち上げなど楽しいイベントも開催しています。これらのおかげで先輩や後輩の垣根を超えて仲が良いのが本サークルの特徴でもあります。バスケットに興味のある方、軽く運動をしたいという方、ぜひ体育館に足を運んでみてください。いつでもお待ちしております。

人間社会学部 公共社会学科
長野 真聖



★福岡県立大学生のサークル活動を紹介します。

文化系

ボランティアサークル「けんけつっち」

ボランティアサークル「けんけつっち」です。近年若年層の献血者数が減少しており、少子高齢化に伴い、今後血液製剤を安定して供給できるか分からない状況です。そこで、若年層を中心として献血の大切さを知ってもらい、献血者数増加につなげるための活動を学生主体で行っています。日本赤十字社 北九州学生献血推進連盟に所属し、他大学の学生とともに複数の献血イベントに参加しています。

部員は95名！主な活動の一つの学外定例会は、月に一度福岡県赤十字血液センター北九州事業所にて行われます。その定例会ではイベントの事前準備や振り返りを、赤十字の方、他大学の方と共に行っています。他にも、献血者数を増加させるための話し合い等を行います。献血に対しての知識と興味を持っていただけるよう、学生同士でアイデアを出し合います。

また、年に二度行われる学内献血や、イオンモール八幡東で開かれる献血会等では、目標の献血者数に近づけるために他大学の学生と協力して声掛けを行っています。

血液は人工的に作る事ができません。皆さん一人一人のご協力が必要です。ぜひ献血バス・献血ルームへ足を運んで下さい！



イラストサークル - aimit -

こんにちは。イラストサークル「aimit」です。本サークルには現在30名が在籍しています。

普段の活動は、各自が自由にイラストを描いたり、楽しくお喋りをしたりしています。アナログで描く部員もいれば、自分のペンタブを持参してデジタルで描く部員もあり、多様なスタイルで活動しています。

秋興祭では、毎年、部員が描いたイラストの展示やグッズ（部誌や色紙、缶バッジなど）を販売しています。また、来場者に展示イラストの感想をいただくアンケートも実施しています。いつも多くの感想が集まっており、イラストを描くモチベーションに繋がっています。

活動場所は、3号館1階の3104教室で、毎週木曜日の18時から21時に活動しています。入退室自由で少しの時間だけ参加することも可能です。他のサークルさんと兼部している部員も多く、参加できる時に参加するといった感じでゆるく活動しています。

イラストに興味がある方、絵を描くのが好きな方、ぜひ気軽に遊びに来てください。



教員研究紹介



看護学部 看護学科 (地域・在宅看護)
助教 田原 千晶



教育について

本学に着任する前、私は看護師として小児病棟・GCUにて勤務し、子どもの成長や発達を促す看護について考え、実践してきました。

本学着任後は、基礎看護、小児看護、地域・在宅看護、学校保健の科目に携わりました。昨年度に本学大学院修士課程を修了し、今年度より助教として、地域・在宅看護の教育に関わっています。主に演習や実習において、学生の皆さんと関わる機会が多いため、学生一人ひとりの理解度や個性に合わせた支援が行えるよう努めていきたいと考えています。



研究について

2005年度より開始された地域・包括ケアシステムにより、在宅で暮らす疾患や障害を持った子どもは増えており、在宅で安全に日常生活を送ることができる支援の拡充は課題の一つです。そこで、修士論文では、訪問看護師における「子どもの発育に関する知識」と「身体アセスメント技術」との関連について調査を行いました。結果として、身体アセスメント技術に多面的な関連を示す「子どもの発育に関する知識」を明らかにすることができましたが、知識や技術を客観的に測定することができず、課題も残りました。

今後は、修士論文の残された課題の解決方法について検討し、在宅で暮らす子どもの支援に関する研究を引き続き進めていきたいと考えています。

おすすめの本

長男が3歳のころに購入した絵本です。話や絵がとにかく面白く、長男は笑いながら次々とページをめくり、本を読み進めていたのを覚えています。特に、長男はりんごのきょうだい紹介されているページが好きで、繰り返し読んであげました。

「りんごかもしれない」は、幼児向けの本ですが、「物事の一面をみて判断せず、多角的視点で捉え考える」という学びを得られる本であり、学生さんにもお勧めできると思い、紹介することにしました。ぜひ、一度読んでみてください。

りんごかもしれない
ヨシタケシンスケ





就職奮闘記 インタビュー



Q. 就職活動期間について

A. 私は、アルバイトの経験を通し、自分のやりたいことを見つけました。就職活動の主動は自分であり、自治体研究からエントリーシート提出、専門分野の勉強など、初めてのことで何度も挫折しそうになりました。ですが、そんな時、キャリア相談室の先生方が、優しく励ましてくださり、アドバイスも沢山してくださりました。地道に対策を進めるうちに、少しずつですが自分に自信が持てるようになり、最後まで諦めず頑張ることが出来ました。

Q. 未来について

A. 私にできる範囲で、色々な方の力を借りつつ、子どもとその親御さんの未来のために、出来ることから頑張っていきたいと思っています。「子どもの声にいつでも耳を傾ける身近な存在でありたい」、この思いをいつまでも忘れずに、日々先輩方から学び、勉強して、些細なことにも気付くことの出来る人になれるよう頑張ります。

Q. あなたにとって就職活動とは？

A. **自分自身との地道な闘いです！**



就職先
宮崎県庁
(心理判定員)

人間社会学部 人間形成学科
青木 海音



就職先
エヌ・ティ・ティ・
コムウェア
株式会社

人間社会学部 公共社会学科
宮岡 七菜子

Q. 就職活動期間について

A. 大学2年の時、将来に対する漠然とした不安があり、キャリアサポートセンターを訪ねました。そして、やりたいことが定まっていなかったのも、様々な業界や企業のインターンシップに参加することから始めました。大学3年になってからは、ITと金融業界に軸を定め就職活動を進めました。東京等現地開催のイベントに参加したことで、刺激をもらったり、一緒に頑張る仲間ができたので、とても良かったです。

Q. 未来について

A. 社内外の方から「私だから頼みたい・頼りたいと思われる人」を目指しています。就職活動期間は多くの方に助けていただいたので、私自身も周りの人を助けられるような存在になりたいです。また、デジタルとビジネスの間に存在するギャップを解消し、人々が生き生きと働く社会の実現に貢献していきたいです。文系出身のSEということで多少の不安はありますが、企業や社会の発展により早く貢献できるよう努力を重ねていきます。

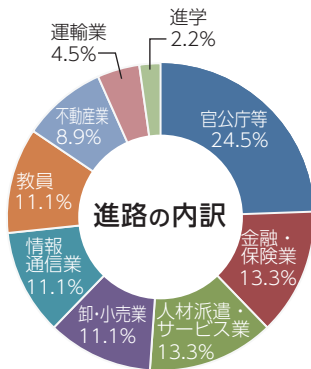
Q. あなたにとって就職活動とは？

A. **自分の世界を広げられた、とても充実した時間でした！**

2023年度 卒業生の進路状況

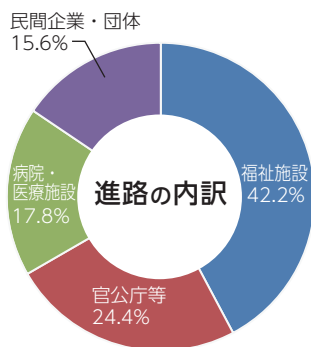
公共社会学科

就職率 **100%**



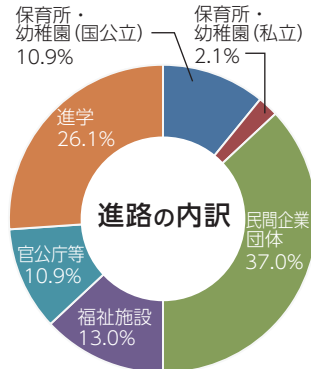
社会福祉学科

就職率 **100%**



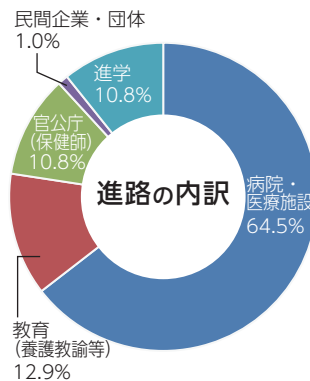
人間形成学科

就職率 **94.4%**



看護学科

就職率 **100%**



就職・進学実績

公共社会学科 [45]

- 民間企業・団体等 [28]
 - 株式会社西日本シティ銀行 [2]
 - 楽天カード株式会社 [2]
 - 穴吹興産株式会社
 - ANA 新千歳空港株式会社
 - Eコー電子工業株式会社
 - NAA セーフティサポート株式会社
 - エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
 - maテレコム株式会社
 - 株式会社カチダス
 - 株式会社佐野豊屋
 - 株式会社スパイスワークス
 - 株式会社ビックカメラ
 - 株式会社ファーストステージ
 - 株式会社宮崎銀行
 - 株式会社ヤマダホールディングス
 - CareerChannel 株式会社
 - 九州産交リアル株式会社
 - シモハナ物流株式会社
 - 住友生命保険相互会社
 - 日本電気通信システム株式会社
 - ネットイーグル株式会社
 - パーソルテンプスタッフ株式会社
 - パナソニックインダストリアルマーケティング & セールズ株式会社
 - 三井不動産リアルティ九州株式会社
 - メディアアソシエイト株式会社
 - 公益財団法人福岡県人権啓発情報センター
- 官公庁等 [11]
 - 福岡県 (事務)
 - 北九州市 (事務)
 - 春日市 (事務)
 - 大分県 (事務)
 - 都城市 (事務)
 - 新上五島町 (事務)
 - 市川市 (事務)
 - たつの市 (事務)
 - 三原市 (事務)
 - 広島県警察
 - 日本年金機構
- 教員 [5]
 - 糸島市立志摩中学校
 - 大野城市立御陵中学校
 - 春日市立春日中学校
 - 糸田町立糸田中学校
 - 田川市立伊田小学校
- 大学院・専門学校等進学 [1]
 - 熊本大学

社会福祉学科 [45]

- 社会福祉施設等 [19]
 - 社会福祉法人慈愛会介護老人福祉施設特別養護老人ホーム富の里 [2]
 - 社会福祉法人自立の里 [2]
 - 社会福祉法人野の花学園 [2]
 - 社会福祉法人福岡県社会福祉協議会
 - 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会
 - 社会福祉法人佐賀市社会福祉協議会
 - 社会福祉法人北九州市福祉事業団
- 民間企業・団体等 [17]
 - 株式会社前田組 [2]
 - 株式会社メモリード [2]
 - Evand 株式会社
 - 株式会社 ASXEED
 - 株式会社 issei
 - 株式会社 OSG コーポレーション
 - 株式会社 キンヤ

- 社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会
- 社会福祉法人カリタスの園天使保育園
- 社会福祉法人共生の里
- 社会福祉法人さゆり会
- 社会福祉法人八女福祉会
- 社会福祉法人ロザリオの聖母会
- あなぶきメディカルケア株式会社
- 株式会社フラ・ゼミ
- 株式会社 unico
- 官公庁等 [11]
 - 福岡市教育委員会 (スクールソーシャルワーカー)
 - 北九州市教育委員会 (スクールソーシャルワーカー)
 - 福岡県 (福祉職)
 - 芦屋町 (福祉職)
 - 徳島県 (福祉職)
 - 大分市 (福祉職)
 - 宮崎市 (福祉職)
 - 若桜町 (福祉職)
 - 長崎県 (事務)
 - 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 - 山口県国民健康保険団体連合会
- 病院・医療施設 [8]
 - 地方独立行政法人広島市立病院機構
 - 出水総合医療センター
 - 公益社団法人地域医療振興協会飯塚市立病院
 - 社会医療法人鴻仁会岡山中央病院
 - 社会医療法人仁友会南松山病院
 - 社会医療法人財団白十字会白十字病院
 - 医療法人財団つばさ行橋厚生病院
 - 医療法人社団知心会一宮脳神経外科病院
- 民間企業・団体等 [7]
 - FBS エンタープライズ株式会社
 - 株式会社西鉄ホテルズ
 - 株式会社BENKEIプロブレムソルヴァーズ
 - タリーズコーヒージャパン株式会社
 - ドクターメイト株式会社
 - エフコープ生活協同組合
 - 徳島大学生生活協同組合

人間形成学科 [46]

- 幼稚園・保育所 (公立) [5]
 - 北九州市 [2]
 - 福岡市
 - 鹿児島市
 - 安城市
- 幼稚園・保育所 [1]
 - 社会福祉法人夢工房幼保連携型認定こども園美ら夢
- 民間企業・団体等 [17]
 - 株式会社前田組 [2]
 - 株式会社メモリード [2]
 - Evand 株式会社
 - 株式会社 ASXEED
 - 株式会社 issei
 - 株式会社 OSG コーポレーション
 - 株式会社 キンヤ

- 株式会社クシベウインテック
- 株式会社佐賀銀行
- 株式会社住居時間
- 株式会社ワークポート
- 香春鉱業株式会社
- 九州労働金庫
- 日本生命保険相互会社
- 富士ソフト株式会社
- 社会福祉施設等 [6]
 - NPO 法人光楽園 (保育士・事務) [2]
 - 株式会社 LITALICO
 - キャロス株式会社
 - 社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団 (保育士)
 - 社会福祉法人カリタスの園天使保育園 (保育士)
- 官公庁等 [5]
 - 福岡県 (心理職)
 - 宮崎県 (心理職)
 - 宇都市 (事務)
 - 筑前町 (事務)
 - 福岡高等裁判所
- 大学院・専門学校等進学 [12]
 - 福岡県立大学大学院 [4]
 - 愛媛大学大学院 [2]
 - 兵庫教育大学大学院 [2]
 - 九州大学大学院
 - 九州産業大学大学院
 - 西九州大学大学院
 - 鳴門教育大学大学院

看護学科 [93]

- 病院・医療施設 [60]
 - 国家公務員共済組合連合会浜の町病院 [4]
 - 産業医科大学若松病院 [3]
 - 九州大学病院 [3]
 - 独立行政法人国立病院機構九州医療センター [3]
 - 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 [3]
 - 社会福祉法人恩賜財団済生会福岡県済生会福岡総合病院 [3]
 - 社会医療法人財団池友会福岡和白病院 [2]
 - 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 [2]
 - 地方独立行政法人下関市立市民病院 [2]
 - 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院 [2]
 - 産業医科大学病院
 - 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
 - 独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院
 - 地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院
 - 地方独立行政法人北九州市立病院機構医療法人徳洲会福岡徳洲会病院
 - 医療法人みなみ粕屋南病院
 - 医療法人和光会一本松すずかけ病院
 - 医療法人コミュニテ風と虹のぞえ総合心療病院
 - 社会医療法人財団白十字会白十字病院
- 民間企業 [1]
 - シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社
- 官公庁 (保健師) [10]
 - 北九州市 [2]
 - 福岡市 [2]
 - 福岡県
 - 香春町
 - 長崎県
 - 長崎市
 - 諫早市
 - 神戸市
- 教員 (養護教諭等) [12]
 - 福岡県立早良高等学校
 - 福岡県立田川科学技術高等学校
 - 九州産業大学付属九州高等学校
 - 福岡県教育センター
 - 赤村立赤中学校
 - 福岡市立立岐小学校
 - 大牟田市立駿馬小学校
 - 朝倉市立礎城小学校
 - 粕屋町立仲原小学校
 - 天草市立新和中学校
 - 都城市立東小学校
 - 錦江町立神川小学校
- 大学院・専門学校等 [10]
 - 福岡県立大学大学院 [5]
 - 久留米大学大学院 [2]
 - 筑波大学大学院
 - 西南女学院大学
 - 香桜大学

退職教員のご紹介

【R6. 3. 31 付】



氏名 **美谷 薫**
学部学科
人間社会学部
公共社会学科 准教授
専門分野
人文地理学、地域行政論



氏名 **吉田 恭子**
学部学科
看護学部看護学科
看護学研究科 准教授
専門分野
在宅看護学



氏名 **増満 誠**
学部学科
看護学部看護学科
看護学研究科 准教授
専門分野
精神看護学

氏名 **佐藤 繭子** 専門分野
母性看護学
学部学科
看護学部看護学科
看護学研究科 講師

氏名 **藤田 愛**
学部学科
看護学部看護学科 助手

氏名 **光武 摩紀**
学部学科
看護学部看護学科 助手

※希望者のみ掲載しております。

新任教員のご紹介



氏名 **鐘江 竜子**
学部学科
看護実践教育センター 助手

福岡県立大学基金 ご寄附のお願い

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生支援、国際交流、教育研究活動等の実施に活用されますが、用途を指定することもできます。

皆様方からの格別のご協力とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

■ご寄附のお申込み方法

「福岡県立大学」のホームページに詳細をご案内しておりますのでご確認いただくか、下記の連絡先にお問い合わせ願います。

■連絡先

経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



Kendai Magazine

福岡県立大学広報誌
Fukuoka Prefectural University

No. 36
2024

- 発行 福岡県立大学
- 所在地 福岡県田川市伊田 4395
- 電話 0947-42-2118
- 編集 学務部 教務入試班

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>



HP



Instagram